



【海上技術安全研究所体験】

《目的》

海上技術安全研究所における体験学習を通して世界最高水準にある日本の造船技術の高さを実感するとともに、船舶の技術への興味・関心を深め、学習への意欲を高める。

《実施内容》

海上技術安全研究所の船舶研究施設の見学・体験

《取組》

- 日 時 平成29年8月9日(水)・10日(木)
- 場 所 海上技術安全研究所
- 対 象 機械造船科 造船コース 2年生(10名)
- 内 容 400m試験水槽、実海域再現水槽、自律型無人探査機(AUV)、構造研究施設、操船シミュレータ等の見学・体験



《研究所での学習内容》

国内最大級の曳航水槽をはじめとした各種研究施設での見学に加え、曳航水槽での曳引台車への乗車、操船シミュレータの操作等の体験をさせていただいたほか、それぞれの研究施設において研究内容等を丁寧に説明していただいた。

《生徒の感想・学び》

- ・ 曳航水槽での試験をはじめ、海底探査や操船シミュレータ、リチウムイオン電池等、様々なものの研究・開発を行っていることが分かりました。
- ・ 事故や故障が起きないようにシミュレーションを行うなど、いろいろな解析をしてから船を造っているということを理解することができました。
- ・ 研究所の方々の分かりやすい説明のおかげで、難しい内容もよく理解できました。また、研究所の方々の研究に対する思いを、とても強く感じました。

《SPH推進アドバイザー岡田さんの助言》

最高の技術を見たり聞いたりすることで若者は大きく成長する。今回、確実にステップアップしている様子がうかがえた。研究所の皆様にご心より感謝。

《成果・今後の課題》

- ・ 国内唯一の施設等、そのスケールの大きさや機能の高さに圧倒され、生徒は感動していました。また、実施後のアンケートでは、「学ぶ意欲の高まり」の項目をはじめ、各項目とも肯定的な回答であり、大きな成果が見られました。
- ・ 充実した体験活動を通して、船舶の技術への興味・関心の高まりを感じています。今回の経験を、今後の深い学びにつなげていきたいと思えます。

